

# のた

'09  
10/1  
No.1053

## ●主 な 内 容●

定例市議会市政一般報告…… 1～10面  
市制施行60周年記念事業にアイデアを…11面  
15万人のひろば……12～13面  
おしらせ・10月の相談日……16～17面  
10月の休日当番医……20面

## 市報

発行：千葉県野田市役所（〒278-8550 野田市鶴奉7番地の1・☎047125-1111代表）  
ホームページ = <http://www.city.noda.chiba.jp> 携帯電話用のホームページ = <http://www.city.noda.chiba.jp/k/>

平成21年第4回定例市議会で、根本市長は、コウノトリやトキが舞うふるさとづくりや、労働者の適正賃金を確保する公契約条例の制定、農産物のブランド化、不燃物処理施設建設事業などを報告しました。本号では、その概要をお知らせします。



野田にコウノトリを  
/写真=(財)日本生態系協会

## 平成21年第4回定例市議会市政一般報告

# コウノトリやトキが舞うふるさとづくりや

## 労働者の適正賃金を確保する公契約条例案など報告

### 国の経済対策と補正予算 に対する市の対処方針

国は、日本経済の悪化に対応すべく、20年度予算に対する第1次・第2次の補正予算を編成しています。

市でも昨年度12月補正、3月補正、21年度当初予算で、中小企業の資金繰り対策、雇用対策、さらに昨年度発生した集中豪雨に対する応急・恒久工事の地元業者への発注増と、さまざまな対策を講じてきました。

本年度に入り、国は、日本経済は依然として「当面の危機」と「構造的な危機」に直面していると、4月に経済危機対策を閣議決定し、21年度第1次補正予算を成立させています。

景気対策のために、大幅な財政出動を予定している予算であり、財源として多額の赤字国債の発行が予定されています。

当初予算案を議論している間に、補正措置が必要な経済対策を検討すること自体がおかしいという議論はもつともだと思えますし、財源論を置き去りにした大幅な赤字国債発行増は、問題があると思います。

しかし、景気の状態、雇用の悪化を考えたとき、さらなる景気対策を講じなくてはならないことは十分理解できます。

国の第1次補正で、市の財政にかかわるのは、地域活性化・経済危機対策臨時交付金、地域活性化・公共投資臨時交付金の二つの交付金事業、3年間にわたり雇用の創出のために使う緊急雇用創出事業臨時特例基金事業、さらに子育て応援特別手当事業、子宮がん・乳がん検診推進事業、地域密着型サービス等拠点整備補助、消費生活センター運営費などの事業があります。昨年来行っている雇用創出事

業や緊急不可欠な政策目的に沿って、国がほぼ100パーセント補助する事業は、補正予算編成に際して、赤字国債が増えるという問題点はありますが、野田市が取捨選択しにくいもので、補正計上しています。

問題は、新しく設けられた二つの交付金です。

野田市に交付される枠は、経済危機対策臨時交付金が約4億5千万円、公共投資臨時交付金が約1億4千万円です。使うかどうかを考えるポイントは、二つあると思います。

一つは国が財政的にモラルハザードを起こしているとした言いやいものないものを、市が使っているのかということです。

もう一つは、かつて行われた景気対策で、結局は自治体にツケを回されたという苦い経験を踏まえたときに、今回の交付金

(2面に続く)